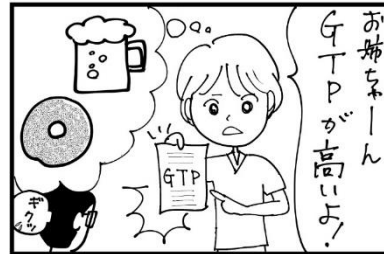


GWは長いお休みをいただきましたが大変ご迷惑をおかけしました。皆さまはどんな休日を過ごしたか。急に汗ばむようになり、虫もでてきました。この時期は皮膚トラブルも頻発してきます。虫刺され軟膏も処方可能ですのでお申し付けください。4月より土曜は2診体制となることがあります。急な対応も可能になり心強く助かっています。院長 池澤滋

感染症情報 3/18~4/21	前回	今回
アデノウイルス	15	17
溶連菌感染症	28	42
感染性胃腸炎	31	56
水痘(水ぼうそう)	0	5
手足口病	4	6
突発性発疹	1	12
おたくふかせ	1	0
カンピロバクター	1	0
ヒトメタニューモウイルス	1	17
RSウイルス	1	4
新型コロナ	13	9
インフルエンザA	5	5
インフルエンザB	123	72

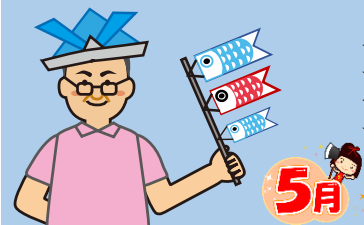


実話

「GTOとGTP」
ワタシの姉の信条は「食べたいものを食べたときに好きなだけ食べる」具合が悪くても食欲が落ちません。しかしとうとう「肝機能がピンチ!!」



4コマまんが
作・絵
ちえこ&きみこ



- ★クリニック予約
 - ★クリニックホームページ
 - ★いけざわ beauty(インスタ)
 - ★クリニック Instagram
- こちらから→ → →



令和6年4月より土曜日は2診体制となることがあります。経験豊富な信頼できる先生たちが協力頂けます

MR ワクチンについて
順調に入荷しております。
接種時間は窓口にてご相談ください。土曜日を勧めております。

サクと春と散歩

柴犬は何をを考えているのかわからないところがある。声をかけても知らんぷり、ニコリともしない。巷では、柴犬のそんなところがツンデレで可愛いらしいが私たちは別にそれを狙って飼いだめたわけじゃない。8年前たまたま入ったペットショップで、真っ白で白クマの赤ちゃんのようなサクと出会った。他にも犬はいたけれど、息子と娘はなぜかサクが気になった。



「この犬大きくなりますかね？」
「いや、そこまでないと思います」

しかしサクは1年も経たないうちにぐんぐん成長し「秋田犬ですか」と聞かれるほど豆柴から遠ざかった。小型犬の憧れは見事に砕けちったが今はもうサクで納得している。

いつもツンデレなサクが反応する言葉は「弁天」「散歩」聞こえれば途端に飛び起き、急にしっぽをフリフリする。そんなところが何とも言えずカワイイのだ。

弁天山への道のり、下り坂では急に走り出すサク。「弁天！ 弁天！ 早く！ 早く！」二つの耳をピンと立たせ、猛ダッシュするサクに吊られて55歳の私も全力で走らされる。4月も始まったばかりなのにサクも私も息をハアハア。汗を滲ませ公園に着くと桜の花が咲き乱れていた。花吹雪の中をサクと歩いた。



帰りの道、歩道のカーブでサクは必ず私の膝に擦り寄ってくる。この場所に何があるというのだろう。

分らないが私も毎回歩道の縁石に腰を下ろしてサクの頭をクシャクシャに撫でる。

『うれしかったねー、桜見れて良かったねー』忙しく過ごす日々の中で、サクが時間を止めてくれているようにさえ思う。

そこには誰が植えたのかチューリップが咲いていた。サク！ ほらチューリップ！ 赤いチューリップだねえ、チューリップがさいたねえ。そう話しかけながらふと30年前を思い出す。結婚して子供が生まれ、夫が久留米の大学病院に勤務している頃、家の隣の小さな公園で乳飲み子の息子を抱え、毎日ブランコに揺られていた。春の夕暮れ、誰もいない公園で帰りの遅い夫をいつも待っていた。今思えば、なんて平和で、静かで、豊かな時間だっただろう。

『咲いたー咲いたーチューリップの花が♪』久しぶりに歌うチューリップは優しい気持ちになる。この歌を、私は子ども達と何回歌っただろう。

何の反応もないサクの背中に「楽しかったね～また行こうね」幼い我が子を思い出しながら話しかける。もう一度頭を撫でて背中を撫でて、それからヨイショとまた腰を上げた。

サクがいなかったら、季節の移り変わりを感じることも、遠い記憶に想いを馳せることもなかっただろう。サクがいて良かった。



文責 池澤千恵子